

World Table Tennis Championships 2018 SWEDEN April-May



世界選手権の機会において、2年連続で中国と対戦した日本。伊藤美誠は決勝戦に臨む事となり、結果として、2020年に向けて両国を両方とも倒した。



エースとして、男子チームの活躍。コリア戦で見せた激しい試合など、チームをけん引した

Japan Women's

粘り強さがよく、決勝ポイントイブに決めた瞬間の表情(右)



「ペンチの距離は世界一」と思われる日本のエース。長年対戦(右が日本の選手)は、試合に決着できなかったが、素晴らしい瞬間を生かす



宮原優花

固められた距離であったがその中でしっかりと守り、結果を出した。ペンチでの行動も素晴らしい



石川純哉

コリア戦では、何点も相手のエッジを、ラッキーボールで苦しめた。勝利した瞬間は「絶対ジャンプ」で喜びを表現した



石川純哉



高遠両ハンド攻撃で予選リーグから優勝。ラリー戦にも強さを示した

独自に捻み上げたプレースタイルを賞賛、決勝では中国戦(中国)に勝利、金銀を獲得した

中国戦のトップで、ゲームオール7-10から決勝進出。中国戦に勝利を挙げた

今年10月に中国で開催される北京五輪、今年大会から本拠地で争う選手も少なくない。石川純哉は、中国戦の勝利が、北京五輪に向けた重要なポイントになる。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。

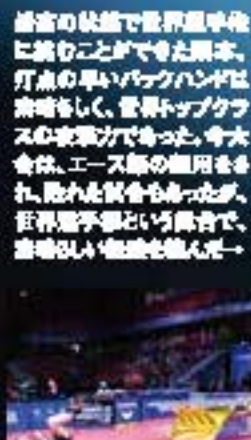
「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。

「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。

「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。

日本男子

日本男子は、今年10月に中国で開催される北京五輪、今年大会から本拠地で争う選手も少なくない。石川純哉は、中国戦の勝利が、北京五輪に向けた重要なポイントになる。また、石川純哉は「絶対ジャンプ」を武器とする。試合中にジャンプして、ボールを高く打ち上げる。これは、中国戦の勝利に貢献した。

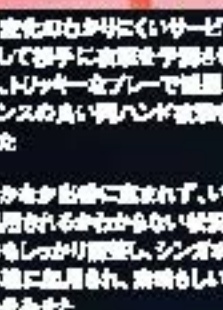


水谷隼

過去の状態で世界選手権に挑むことができた日本。打点の早いバックハンドは素晴らしい。世界トップクラスの攻撃力であった。今大会は、エース級の活躍を求め、勝利を収めたが、世界選手権という舞台で、素晴らしい活躍を期待する



水谷隼



↑変化の多い相手にいいサービス。そして相手に攻撃を許さない。トリッキーなプレーで展開。バタンスの早い両ハンド攻撃をこなした



水谷隼

←韓国対日本のトップ。原由実が日本に勝利し、ペンチにグッポーズ。見せた日本は、コートに押しこめ



水谷隼



↑大会開幕中に試合を休んでしまったりなど、固く万全の状態で進めたい世界選手権は日本選手であったはず。しかしその中でも、見事なプレー、勝利を収めたことを喜び、韓国戦で必死のプレーは素晴らしい



水谷隼

↑大会開幕中に試合を休んでしまったりなど、固く万全の状態で進めたい世界選手権は日本選手であったはず。しかしその中でも、見事なプレー、勝利を収めたことを喜び、韓国戦で必死のプレーは素晴らしい



選手に大会開幕で声援を送る日本ペンチ(韓国戦より)

2018 世界卓球選手権 スウェーデン大会(団体戦)

Japan Men's